

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
権利擁護と成年後見制度		必修(社.精) 選択(心)	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー	
梅沢 佳裕	B310	y.umezawa		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p>〈目的〉ソーシャルワーク実践における権利擁護の重要性の理解やソーシャルワークと法(憲法・民法・行政法)との関係について理解することを目的とする。</p> <p>〈概要〉講義では、判断能力が低下した人を守る手段である成年後見制度等について解説するとともに、権利擁護のためのソーシャルワーク実践内容について、印刷教材を用いた授業と、同時双方向型授業を通じて教科書・添付資料をもとに学習し、その後にフィードバックを行い本講の要点となる内容の理解を深める。</p>				
学習上の助言	権利擁護と成年後見制度をしっかりと理解するためには、事前に教科書を精読し、講義の前週に配布する予習プリントに沿って、専門用語や内容について下調べを行ったうえで講義を受けることが望ましい。				
教科書	新・社会福祉士養成講座「権利擁護と成年後見制度」第4版/編：社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書	講義内で指示する				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワークと法の関わりを説明することができる			HSU(1)(2)・社(2)・精(2)	
②	成年後見制度、日常生活自立支援事業について説明することができる			HSU(1)(2)・社(2)・精(2)	
③	ソーシャルワーク実践における成年後見制度の活用方法について説明できる			HSU(3)(4)・社(2)・精(2)	
④	社会的排除や虐待などの権利侵害を受けていたり、認知症により判断能力が低下しているものに対する権利擁護活動の実際を説明することができる。			HSU(1)(2)・社(2)・精(2)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	授業オリエンテーションを行う。権利侵害とは何か考察する フィードバック：課題返却で実施	印刷教材での授業	シラバスを読んで全体像を把握してくる	4	
2	ソーシャルワークと権利擁護について学習する フィードバック：課題返却で実施	印刷教材での授業	授業該当ページの教科書の精読による予習復習	4	
3	「日本国憲法の理解」について学習する フィードバック：課題返却で実施	印刷教材での授業	授業該当ページの教科書の精読による予習復習	4	
4	「民法の理解(総則・物権・債権)」について学習する フィードバック：課題返却で実施	印刷教材での授業	授業該当ページの教科書の精読による予習復習	4	
5	「民法の理解(親族・相続)」について学習する フィードバック：課題返却で実施	印刷教材での授業	授業該当ページの教科書の精読による予習復習	4	
6	「行政法の理解」について学習する フィードバック：課題返却で実施	印刷教材での授業	授業該当ページの教科書の精読による予習復習	4	
7	成年後見制度(法定後見制度)について学習する フィードバック：課題返却で実施	印刷教材での授業	授業該当ページの教科書の精読による予習復習	4	
8	成年後見制度(任意後見制度)について学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	授業該当ページの教科書の精読による予習復習	4	
9	成年後見制度の利用について学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習・復習	4	
10	成年後見制度利用支援事業について学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習・復習	4	
11	日常生活自立支援事業の概要について学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習・復習	4	
12	日常生活自立支援事業とソーシャルワークについて学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習・復習	4	
13	権利擁護に関する相談事例の実際について学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	Teamsの投稿に添付したプリントによる予習・復習	4	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

14	権利擁護と成年後見制度のレビューについて学習する フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付した プリントによる予習・復習	4					
15	権利擁護と成年後見制度と社会福祉士（総括）を行う フィードバック：授業時間内に実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	同時双方向型授業	Teams の投稿に添付した プリントによる予習・復習	4					
試	定期試験を実施する 達成度評価・評価のポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		100	0	0	0	0	100		
総合力 指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80		
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～⑥について、授業の目的についての達成度を判断する問題を出題する。出題方法として、記述式の問題を出題する。なお、記述式問題では、①～④に関する達成度も総合的に判断できるような出題を行う。				模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤								
	⑥								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
備 考									
<p>【実務経験のある教員による授業科目】</p> <p>教員の実務経験：ソーシャルワーカー、社会福祉士として7年3か月の臨床経験。</p> <p>実践的授業の内容：授業では教科書に記載されている一般的事項を教えつつ、社会福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p> <p>*Teams を使用した同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi 環境を推奨します。</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</p>									